



# JAC北九だより

No.72 (平成27年 第2号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部

支部長 伊藤 久次郎

事務局: 行橋市東泉3-18-10

竹本 正幸方

TEL-FAX 自宅 0930-28-9611

携帯 090-6739-9251

編集人: 森 義雄

印刷: 山口県山口市水の上町2-25

内 藤 製 本 所

## 日本山岳会森会長を風師山にて迎えて 横 有恒 略歴碑を囲む1周年記念セレモニー

13643 関口興洋



写真 風師山(風頭)にて

昨年3月21日、日本山岳会の森武昭会長をお迎えし、風師山(風頭)で霰が舞う厳しい天候のもとで略歴碑の除幕式を行った。4月19日、今年は一周年が経過したことに鑑み、再度、森会長ご夫妻の出席を仰ぎ、記念のセレモニーを行うこととなった。

今年の天気も芳しくなく会場の風頭にガスが垂れ込め関門海峡の全景が見られず残念であった。

ただ一瞬、巖流島が視界に入ったのがせめての慰めであった。

今年も略歴碑製作に尽力された地元の関係者が多数参加し、また福岡支部からも昨年に引き続き中馬支部長、高木副支部長が参加された。

なお、「横 有恒」のご子息である横恒治氏にも参加を呼びかけましたが、体調不良にて伺えないとのことで、セレモニーの前に同氏からのメッセージを披露いたしました。

伊藤支部長の開会のあいさつ、引き続き森会長

のあいさつをいただき、今後とも風頭に来遊される登山者が「横 有恒」の記念碑とともに同氏のプロフィールを略歴碑を通じて知ってもらい後世に引き継いで貰いたいとのメッセージをいただいた。

その後、風師山早朝登山会の菱田代表から今年早朝登山会が昭和30年に発足して以来、ちょうど60年の大きな節目を迎えたことが披露された。

最後に略歴碑設置に注力された門司こもれび会を代表して丹下会員(風師山早朝登山会会員、門司こもれび会会員、JAC北九州支部会員の三足のわらじをはいている)から記念碑にかかわる「横有恒」の古いエピソードなどが披露された。

雨模様を心配しながらのセレモニーであったが、何とか天候も持ちなおし、出席者全員の記念写真をとり無事終了した。



# 平成27年度 第16回通常総会の報告

事務局 森義雄



写真 懇親会

平成27年4月19日(日)午後3時から小倉ステーションホテルで北九州支部第16回通常総会ならびに関連行事を開催いたしましたので報告いたします。

## 1、第15回通常総会(午後3時~4時20分)

午後3時より山田事務局長の司会で、第16回通常総会が開催されました。

板倉副支部長より開会の辞、木原役員より本日の総会出席者49人、委任状15人で会員総数75人に対し、過半数に達しておりこの総会は成立したことが報告されました。

次いで伊藤支部長より支部長あいさつがあり、今年支部設立15周年の節目、記念行事を計画しているとの説明がありました。

その後、議長に伊藤支部長が選出され、各議案の審議に入りました。

- 第1号議案：平成26年度事業報告(森役員)
- 第2号議案：平成26年度収支決算報告(馬場役員)
- 第3号議案：平成26年度監査報告(縄田監事)
- 第4号議案：役員改選(案)について(事務局)
- 第5号議案：平成27年度事業計画(案)の審議(竹本役員)
- 第6号議案：平成27年度収支予算(案)の審議(馬場役員)
- 第7号議案：支部規約追加(案)の審議(事務局)
- 第8号議案：月例山行での参加費の徴収(案)(縄手役員)

以上の第1号~第8号議案すべて原案通り可決承認されました。

役員改選(案)では、支部長人事で「事務局から本年度は15周年記念事業も計画されている。過去、大庭支部長時代に10周年記念事業を円滑に進めるため1年特例で認め、任期を伸ばした経緯もあり、今回の支部長人事では1年間の任期延長をしたい」との提案があり、承認されました。(板倉副支部長も同様に延長)。

平成27年度山行計画案の中で、第1山行と第2山行の違いについての質問があり、第1山行は初級者対象、第2山行は中級を想定していると事務局から説明がありました。

第7号議案の北九州支部指導員規定制定の件では、研修を園川講師指導のもと平成26年度に続き、平成27年度にも募集し実施するので、多くの会員に受講してもらいたいとの説明がありました。

第8号議案では、月例山行での参加費徴収は、リーダーの資料作成、通信連絡などの負担があるため経費として徴収し、残金は支部に納入することで承認されました。

続いて、山岳指導員への認定書の授与があり、昨年度修了者(8人)に認定書が交付されました。

最後に関口副支部長の閉会の辞となり、今総会で退任される役員(関口氏、山田氏、大楠氏)からの退任あいさつがありました。



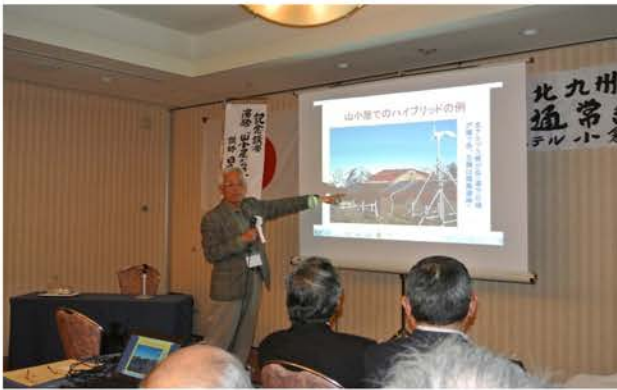


写真 森会長の講演

## 2 記念講演会(午後4時30分～5時30分)

午前中の風師山での榎有恒略歴碑1周年セミナーに森会長のご参列をいただき、午後からは総会にも参加(当支部会友)、その後記念講演をしていただきました。

◎記念講演、森武昭会長

演題「山小屋から見た日本のエネルギー問題」

森会長から、北アルプスの山小屋に設置された各種発電施設の効果検証を解説された。

太陽発電の特徴、長所として保守が不用、短所として設備の利用率が低い、広い面積が必要などを指摘された。風力発電は期待するほどの効果がなかった。小水力発電の特徴として、安定した発電量を得ることができる。次に、再生可能エネルギーの買い取り価格の問題状況、さらにスマートメーターを検証しているとの解説があった。

最後に、日本山岳会として山の日祝日制定に至るこれまでの経緯と今後の活動方法について説明があった。



写真 懇親会

## 3、懇親会(午後6時～8時30分)

午後6時から43人の会員と、本日の記念講演の森会長のご出席のもと、司会は日向新副支部長が担当されました。

園川顧問の乾杯の音頭で開宴となりました。

テーブル名は「九重山」「英彦山」「福智山」

「竜王山」「平尾台」として各テーブルに9人45人で昨年を上回る参加者でした。途中、新通常会員及び新支部友会員の紹介がありました。また、各テーブル代表の歌や清家幸三会員の詩吟が演じられ、大いににぎわいました。ふだんは会員同士の話をする機会が少ないため、色々な山行の話で盛り上がりました。最後に全員で輪になり肩を組み「坊がつる讃歌」を歌い終宴となりました。

通常総会参加者(敬称略)出席者:45人

●来賓:森武昭会長ご夫妻

●永年会員:園川陽造

●通常会員:

大庭常生、日向祥剛、井上佑、溝部忠増、原広美、大城戸昌敏、板倉健一、伊藤久次郎、井上禮子、馬場基介、磯野文雄、高畠拓生、関口興洋、藤田傳、山田武史、池田暁彦、内藤正美、丹下洽、大木康子、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、縄手 修、竹本加代子、木原充、池田智彦、赤瀬榮吉、縄田正芳、大神信生、森 義雄、深田英美、歳弘逸郎、奥田スマ子、三浦利夫、町元里香

●支部友:

清家幸三、伊藤友紀、藤原玲子、俵富士夫、田中貴大、平野和則

## ■新年度の役員構成(平成27年4月～平成29年3月)

支部長 伊藤久次郎(13499)留任(全般)

副支部長 日向祥剛 (11427)新任(自然保護)

副支部長 板倉健一 (13471)留任(安全対策)

事務局長 竹本正幸 (14852)新任(事務全般)

役員 磯野文雄 (13533)新任(総務委員長  
・森林保全)

役員 丹下 洽 (14264)留任(ルーム委員長)

役員 武永計介 (14476)新任(山行委員)

役員 大木康子 (14498)新任(ルーム委員)

役員 大内喜代子(14689)新任(山行委員)

役員 池田智彦 (14876)留任(スキー部長)

役員 縄田正芳 (15138)新任(財務委員長)

役員 縄手 修 (15174)留任(山行委員長)

役員 森 義雄 (15387)留任(広報委員長・  
事務局補佐)

会計監事 馬場基介 (13532)新任

会計監事 木原 充 (14875)新任

## 【退任役員】

副支部長 関口興洋 (13643)

事務局長 山田武史 (13992)

会計監事 大楠益弘 (13465)



## 山に登ってみてわかる「四国の山はなぜ美しいか」

### 第31回全国支部懇談会・第3回小島烏水祭併催

事務局 15387 森義雄



写真 小島烏水氏碑前

#### 【4月11日(土)】小雨&曇り

平成27年度全国支部懇談会は、4月11日(土)四国高松市で開催されました。北九州からは伊藤支部長ほか5人が参加しました。

今年は、四国支部主催ということで日本山岳会初代会長小島烏水氏の顕彰碑のある高松市峰山公園で開催される「小島烏水祭」にあわせて、例年秋に開催される支部懇談会を4月開催。全国から多くの支部会員が集まりました。

当日午前中、峰山公園で第3回「小島烏水祭」が開催され四国支部の尾野支部長ほか主催の日本山岳会からは森会長、各支部長、また地元からは建立にご協力いただいた行政関係者などが出席し、式典がおこなわれました。式は小島烏水の功績をたたえ、来賓あいさつ、記念植樹、記念碑の前での献花がありました。終了後、山頂で地元山行会から讃岐うどんが参加者にふるまわれました。

午後からは、会場を「花樹海」に移し、全国支部懇談会が開始されました。主催者の四国支部尾野会長のあいさつの後、講演会として3題おこなわれました。講演では常泉院住職平井宥慶氏が「小島烏水と江戸」という題目で江戸時代からの小島家についてのエピソードが紹介され、次にスライド鑑賞として四国支部清家一明氏が「四国の山はなぜ美しい」という内容で美しい写真を紹介し解説された、最後にシンポジウムとして尾野支部長司会進行で4人のパネラーが「四国の山はなぜ美しい」についてそれぞれの観点で話された。

一旦休憩に入り、午後6時30分から懇親会がはじまり、乾杯の後、懇談となりました。会場内は久しぶりの再会で、会員相互の笑い声やあいさつで賑いました。アトラクションとして、祝服の歌があり、山に関係の歌を美しい歌唱とピアノの演奏で会場内に響きました。そのあと、徳島阿波踊り「水玉連」約40人による、参加者への阿波踊りのレッスンと踊

りが披露されました。各支部の紹介も途中あり、最後に来年度支部懇談会開催地越後支部から開催の紹介があり、閉会となりました。

#### 【4月12日(日)】曇り

記念山行は、2班にわかれ、A班飯野山、B班三嶺。

私は、B班三嶺に参加。早朝6時ホテルを出発、一般道を徳島方面から剣山へと向かう。

三嶺への登山口は名頃だが、曲がりくねった車の離合も難しい狭い道を高松から3時間かけて、登山口に到着する。道途中には、みつまたが生い茂っていた。ここから、4班に分かれて登山開始、比較的ゆるやかな登山道を進み、高度をあげていく。登り1,000mの高低差、3時間で頂上手前の避難小屋に到着。山頂近くは、約1900m、池は氷も張り、樹木も低く風は吹き抜け、体幹は寒い。参加者も厚着に着替える。避難小屋から10分ほどで三嶺山頂へ、全員で記念撮影。遠くは石鎚山方面もわずかに見える、ガイドの清家さんによると、これからの季節は花がきれいな時期だとか。特にコメツツジが7月には咲きほこりきれいだとか。気候のいい時期に花もう一度来てみたいと思った。下りは、2時間ちょっとで今晚の宿管生へ到着。

入浴後、食事をとり、ロッジに戻ると、四国支部の皆さんが熱い「おもてなし」。

お酒やいのしし等のバーベキューが準備され、登山の疲れもいやされ、参加者も大いに満足感を覚えたのではないだろうか。

今回の支部懇談会での四国支部の皆さんによる色々な場面でのおもてなしに感謝し、四国をあとにしました。

参加者：6人

会員：伊藤久次郎、関口興洋、高島拓生、原広美、大谷恵美子、森義雄



写真 懇親会阿波踊り



## 月例山行 1月11日(日)

## 英彦山(1199 祀) 冬の四王寺滝は凍らず

15580 大谷恵美子

## コースタイム:

別所駐車場8:40⇒奉幣殿9:00⇒四王寺滝登山口  
 9:49⇒四王寺滝 10:50⇒産霊神社(八合目)11:53⇒  
 英彦山中岳山頂 12:13⇒ポッカ道分岐 13:35⇒  
 奉幣殿裏 14:16⇒別所駐車場 14:35



写真 四王寺滝前

英彦山は冬の景色が割と近くで見られる山です。

今まで冬の英彦山は2回登っていますが今回は四王寺滝が見たくての参加です。この日は冬にしては天候もよく、別所の駐車場にはすでにリーダーの榊さんが来ておられました。メンバーがそろい、いざ出発です。駐在所を過ぎて、左手の山道に入る。奉幣殿への長い正面の石段を避けて、私たちは深い樹林の道を奉幣殿裏へ向け歩く。ここは鹿を良く見かけるとか。

冬山の冷え切った空気を思い切り吸い込み、しば

らくすると体も温かくなり、その頃には奉幣殿に到着。ここで衣類調整し、お参りする。階段を上がり鬼杉コース方面へ向かう。途中はこれといった標識もなく、登山コースに入ってテープもなくなり荒れた状態だった。以前来られたメンバーの話では、数年前に大きな崩落があったそうです。四王寺滝分岐からは、登りはじめて滝に向かって右側は通行止め、今日は左側コースで登ると、行き過ぎて、やぶごぎでどうにか滝に到着。目の前の滝は暖冬のため岩肌には水が流れており、私の思い描いたシャンデリアを見ることはできなかった。残念です。

写真撮影後に左手の大きな岩場の下を歩いて、やぶごぎで登る。急登でつかまるものがなく、笹の茎を数本握りながら登る。少し上がると山肌が見えているところがあった、崩落した傷痕なのか？ 山が入ってはいけないといっているように私は思えた。だからはっきりした標識がないのだろうか、自分のことで精一杯で登り続けると、出たところはおすび神社の裏だった。ここで一休み。

これからはいつもの正面道で中岳(上宮)に進む。急にお守りのアイゼンを重く感じた。途中霧氷が雪の上に落ちて面白い図柄が・・・これも冬山の楽しみかも？ 山頂山小屋に到着、山頂は意外と登山者が多い。小屋の周辺を清掃、森本さんが氷のはった入口付近をスコップで取り除いている。入山禁止のテープなども張ったりした。小屋の中は登山者で一杯であったが、譲り合いながら暖かい昼食を食べました。小屋に完備されたバイオトイレも利用させていただいた。

昼食後、下山開始。途中雪もやわらかくなっているので、アイゼンなしでかかとを先につける歩き方などを教えていただいた。今回は英彦山の冬景色は見る事ができず残念でした。

下山後は冷え切った体を温泉で温めた。今回は思い切って参加して良かった。

メンバーの皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 参加者 7人

会員：榊俊一(リーダー)、伊藤久次郎、高島拓生、森本信子、大内喜代子、森義雄、大谷恵美子



## 月例山行 1月18日(日)

## 足立山～戸ノ上山縦走 (戸ノ上山登山会との交流会)

支部友446 清家幸三



写真 戸ノ上山頂小屋前

正月の小寒過ぎの山行としては良い天気恵まれました。朝は7時30分に小倉駅に集合。

駅前バスセンターで7時40分発の霧ヶ丘行きに乗車、黒原第1バス停で降り、妙見神社の登山口には8時10分に到着しました。

メンバーは馬場さんがリーダーで新入会員の平野和則さん(北九481)が初参加して計8人で足立山から戸ノ上山を目指しました。

コースは前もって馬場リーダーが下見をされ、細部にわたり時間設定のメモをいただき、今回の記録係りとしては貴重な資料となりました。

馬場さんより、登山計画表に記録している時間より早く行く旨のお話があり、出発は計画より10分早く8時20分に登山口をあとにしました。砲台山分れ、妙見神社別れを各15分早く通過して足立山山頂は9時45分に着き、休憩し行動食をとりました。

頂上から関門海峡は波も静かで行きかう船舶が止まって海峡の絵図を見ているような景色でした。

遠くは英彦山も見えてPM2.5も少ないなと思いました。

頂上では記念写真を撮り、9時45分に5.7km先の戸ノ上山岳会のみなさんが待っている神社を目指しました。3年前は頂上でアイゼンを装備しましたが、今日はザックに入れたままで下りのコースを進むことが出来ました。前回の山行に比べて軽快さを感じるの、経験を積んで諸先輩にたくさんのご教示していただいたお蔭だと思います。途中、山椿の咲きほころぶこのコースのイメージを抱いていた大谷会員が、今年はまだ咲いていないので少し期待外れのような。椿の咲く時期が早いのかそれとも果実のように裏年があるのかと話しながら、木漏

れ日の少し春を感じる中を、先頭馬場リーダー、森本会員、大内会員、大谷会員、清家、さらに平野会員、伊藤支部長、森会員が続きました。

大台ヶ原には11時58分に到着、心地よいすすきの原っぱで休憩。ここで馬場リーダーが大分県の由布岳が見えると教えてくれて、遠い眺望がくっきりと目に入ることはいつもながら格別な感動を覚えました。大台ヶ原からは、あと30分で鍋が出来上がっている情報が入った交流会の場所(戸ノ上山頂)へ最後の急登を進みました。頂上には、伊藤支部長を先頭に12時35分に予定より10分早く到着。山頂では関口副支部長をはじめ皆さんの暖かい出迎いの拍手をいただきました。

到着後、早速交流会に入りました。伊藤支部長と戸ノ上山登山会のごあいさつがあり、温かい鍋料理を食べ始めました。戸ノ上山登山会の猪肉は自慢の最高級品だと聞きましたが、猪鍋は疲れが一気に体から引いていく感じを覚えるほどの美味しさでした。

約30人が全員でお替りをいただき、ごちそうになりました。この紙面をお借りして戸ノ上山登山会の皆さんへお礼申し上げます。約1時間の交流会を終え、全員で記念写真を撮り、午後1時30分に解散し、北九州支部会員14人全員で寺内登山口へ下山しはじめました。

途中、丹下会員から山城の跡の歴史や戦時中の銃撃練習の場所の説明を聞きながら、1.8kmのコースを約1時間かけて午後2時35分に無事、寺内バス停に到着し、解散しました。

参加者 14人

縦走：会員：馬場基介(リーダー)、伊藤久次郎、森本信子、大内喜代子、森義雄、大谷恵美子  
支部友：清家幸三、平野和則  
現地参加：関口興洋、原広美、大木康子、丹下治、丹下香代子

## ＝ 山岳会員(支部友)募集 ＝

1. 入会金：1,000円
2. 年会費：3,000円
3. 毎月、月例山行を実施しますので初心者の方でも気軽に参加できます
4. 支部報を郵送します(3カ月に1回発行)  
連絡先：竹本 正幸 (携帯090-6739-9251)



## 月例山行 3月21日(土)~22(日) 皿倉山~採銅所 夏の記念山行に向けての縦走訓練

15580 大谷恵美子



写真 福智山山頂

### コースタイム：

21日：帆柱登山口 8:48⇒帆柱神社⇒皿倉山頂 10:05  
休憩 10:29⇒権現山 10:50⇒市の瀬峠 11:33 昼食  
11:55⇒観音越 13:46⇒田代分かれ 14:26⇒尺岳 15:35  
⇒豊前越 16:42⇒荒宿荘 17:30  
22日：荒宿荘 6:50⇒福智山 7:03⇒焼立山 8:42⇒  
牛斬山 10:01⇒採銅所駅 11:20

### 21日(土) 快晴

平成27年度の最後の月例山行は、テント泊を想定した歩荷とロングコースとなりました。昨年からテント泊で重たい荷物を担いでの縦走に参加していますが、3月は地元の皿倉山から採銅所への縦走で途中荒宿荘に泊まる山行に参加しました。

今回はあえて重い荷物(12キロ)を意識して歩くことにしました。朝8時30分八幡駅に集合、参加者は11人ですが、シュラフや食料もあり、皆さん重いザックとなっています。皿倉山の登山口に移動し、縄手リーダーを先頭に出発。直ぐに神社からの急登では重い荷物が背中にのしかかります。ゆっくりと登りながら、1時間ほどで山頂に到着。山頂の手前の岩場は岩登りの訓練で園川先生がよく指導される場所です。

山頂でトイレ休憩、次は権現山に向かいます。車道を歩き到着。これから市の瀬峠までは、下りが続きます。折角、登ったのにとしながら。峠で昼食。今日の宿の荒宿荘までは長い道のりが続くと話しながら腹ごしらえ。

次は尺岳への長い道、アップダウンを繰り返しながら、樹林帯の中を進みます。景色も見えず、ひたすら歩きます。途中、分かれ道にあいますが標識もなく、わかりにくいのであと何キロという表示で疲れも倍増してきます。午後3時半頃に尺岳の肩

に到着。広場で休憩、段々と重い荷物が負担となり疲労感が一杯。あともう少しと自分に言い聞かせて、荒宿荘を目指します。午後5時30分に到着。

直ぐに、皆で夕食の準備、水場も近く、小屋は我々グループのみ、今晚はゆっくりと寝られそう。トイレはバイオトイレで筑豊山の会の皆さんが管理されてきれいです。夕食をとりながら、山談義となります。宿泊の山行は、色々な山の話が聞かれて参考となります。午後9時過ぎには、眠りにつきます。

### 22日(日) 曇り&晴れ

朝は早く目が覚めます。6時前には皆さん起きはじめ朝食をとります。昨日の疲れが少し残っていますが、今日の行程は昨日に比べると短いとリーダーから言われ、ホッと安心です。

早めに出発し、福智山山頂を目指します。山頂は、寒く風も強く写真を撮ってそうそうに出発。赤牟田の辻の手前は「念仏坂」、確かに急登です。見上げればかなりの勾配があります。リーダーの縄手さんは持ち前の健脚で一気に登ります。皆さん苦にもせず続いてひたすら登り始めます。足元を気にしながらやっと到着。このあたりから、採銅所方面から来る登山者とすれ違い、お互い長い縦走となるため励ましあい言葉を交わします。このコースは1日なら早めの出発で皿倉山では行くことができます。重い荷物も必要がないかなと思われまます。

牛斬山から香春岳を見て昼食。あとは下山です。11時過ぎにふもとへ降りると桜が満開、今年の桜は早いようです。11時半過ぎのJR線に乗り、各自帰路へ。お疲れ様でした。

今回は、夏の記念山行の縦走訓練のため計画をしたとかで、重い荷物で縦走する経験を積むことを目的としたようです。夏だけではなく冬山も重い装備が必要となります。でも今回はやはり重い荷物には苦労しました。次回は、もっと重い荷物にチャレンジしてみます。

参加者：11人

会員：縄手修(リーダー)、森本信子、榊俊一、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、森義雄、赤瀬榮吉、大谷恵美子  
支部友：清家幸三、加藤信子



## 月例山行 1月11日(日)~12日(月)

## 南八ヶ岳に向けての大山冬山訓練

14853 竹本加代子



写真 行者谷

## 行程

- 1日目 山口市武永宅6:45→大山南光河原駐車場11:00(昼食 準備)12:15→下宝珠・元谷分岐13:16→元谷避難小屋14:38
- 2日目 起床・朝食5:00→元谷出発6:50→行者谷→1230<sup>㌢</sup>地点(撤退)10:10→元谷小屋10:40/11:10→南光河原駐車場12:50/13:10→山口市武永宅18:00

南八ヶ岳(赤岳)に向けての雪上訓練を大山で計画する。山口市武永宅に6:30集合。

11時には南光河原駐車場に到着。自宅から5時間半の所要時間であり、大山が意外に近いのに驚く。昼食を取り目的の元谷へと向かう。いつもは埋もれている鳥居が随分と見上げられ、例年より少ない雪の参道を登り大神山神社で安全祈願をする。

フカン・ピッケル・スコップ・ビーコンも含め積雪期のフル装備のザックが肩にずしりとかかる。下宝珠と元谷の分岐へと進むうちに穏やかな天気が一変し風が強くなり吹雪である。下山者とすれ違うもトレースはかき消され、元谷堰堤あたりでは風圧と積雪で前に進めず風を避けられる所まで引返しフカンを装着する。

14:38やっと元谷避難小屋に到着。テント場を偵察するが風が激しいので小屋泊まりに変更し一息入れる。それから、武永さん指導のもとビーコン1台を(武永さんより1人1台お借りする。)遭難者に見たて、埋没させ各自ビーコンを操作して埋没者を探す訓練と実際に1人ずつ雪の中に埋まる実体験をす

る。埋没者に声をかける。埋没者にはよく聞こえるが埋没者の返事は聞こえづらい。雪の重さは相当なもので身動きはとれず圧迫感で苦しい。実際に雪崩にあえば時間との戦いである。

小屋にもどり雪をコッフェルで溶かし水を作り夕食を作る。八ヶ岳を想定しての夕食のコンセプトは軽量である。各自がそれぞれの夕食メニューを準備する。私はアルファ米+スープ+ココアである。

そして、共同で簡単鍋を囲む。ごほう天がうまいよと言うことでツミレとごほう天をメインに、野菜は2・3日乾燥させて3分の1まで軽量できた。なかなか、味の良い簡単鍋になった。小屋にはJAC広島支部の7人と我々4人でゆったりとしている。外は猛吹雪だ。明日は天気次第で行動を決める。18:30寒いので早々とシュラフに潜り込む。もちろん登山靴も濡れた手袋も帽子もシュラフの中に入れる。広島支部のグループから若者の華やいだ声が聞こえる。ロープワークの講習中である。北九州支部にもこんな若者が集まると嬉しいのだが。

夜半の吹雪はおさまり50<sup>㌢</sup>以上の積雪になった。10時を目標に行者谷を詰め6目避難小屋を目指す事になった。6:50出発する。4人交替のラッセルで斜面は深い所は胸までもある。広島支部の7人は同じペースで7合尾根を進んでいる。コースが違うのでラッセル泥棒にならなくて良かったなどと支部のプライドをちょっと覗かせた。1230<sup>㌢</sup>あたりまで頑張ったが時間切れで撤退。200<sup>㌢</sup>の高度を稼ぐのに3時間もかかったことになる。スコップ使用のラッセルも初めてでした。下りは30分で元谷小屋に着く。温かい飲み物をお腹に入れホッコリし、パッキングをすませ11:10下山。

トレースはなくフカンは付けたまま、またラッセルである。南光河原に12:50着。雪の中から武永車を掘り出し、帰路へ。

八ヶ岳に向けての訓練山行は新しい経験をした。遭難を前提とした装備が必要であり、積雪期のビーコンやゾンデ棒の必要性をレクチャしていただき感謝。

参加者 4人

CL: 武永計介 SL: 竹本正幸

竹本加代子 縄手 修



## 月例山行 2月6日(金)~9日(月) 厳冬期の八ヶ岳、頂上を前に断念する

14852 竹本正幸



写真 美濃戸口出発前

### 行程

- 6日 武永宅16:30発~多賀SA 22:20休憩  
 7日 多賀4:45~美濃戸口8:24~美濃戸9:25~  
 9:40~行者小屋13:10テント設営  
 8日 テントSt 7:30~2640<sup>標</sup>地点9:35風雪のため  
 撤退~テント着10:25 テント撤収11:40  
 ~美濃戸13:22~美濃戸口14:35  
 9日 武永宅AM 1:10

### ●2月6日(金)

8日は悪天候が予想されるため日程の延期又は出発時間を早めて7日に一気に登るか、相談したが予定通り決行することにする。4人は、8人乗りエルグランドで美濃戸口目指して武永宅を6日16時30分出発する。

途中、名神高速道路の多賀SAにて休憩(仮眠、風呂付850円)する。

### ●2月7日(土) 快晴

山に近づくとつれ地道も凍っていて慎重に運転する。美濃戸口には、おおよそ50台の車がすでに駐車されており冬の八ヶ岳の人気の伺える。

20<sup>弱</sup>の荷を担ぎ、美濃戸を目指して凍った林道を歩き出す。約1時間で美濃戸に着き、赤岳山荘の前でアイゼンを装着する。南沢ルートはトレースがしっかり付いていて歩きやすい。空は快晴、足場は締まっていて歩きやすく雪景色の中、順調に歩を進めると前方に横岳大同心、小同心、右手に赤岳が見えてくると行者小屋は近い。美濃戸より3時間30分で行者小屋キャンプ場に着く。

登山者は、赤岳鉱泉と2カ所に分かれてテント設営するが、行者小屋周辺には10数張りのテントがすでに張られていた。テント場の少し上には水場があり、雪を溶かして水をつくる必要もなく助かる。小屋のトイレも2カ所開放されている。

テント設営後の頂上アタックは、時間不足で諦め、明日の天気になかなか期待を残して夕飯の準備に取り掛かる。早目の夕食をすませ、登山靴、水、スバツツなどは、凍らないようには寝袋に入れて寝る。

夜中に、トイレに起きると満天の星空で、明日の予報が信じられない。これなら頂上に立てるかも・・・

### ●2月8日(日) 雪

6時起床、外は雪が舞い始めていた。各自は好みのα米にお湯を入れ、スープを作り、時間に追われながら朝食を済ませる。テルモスにはお湯を入れ、水500ccを持ってテントを出す。水は凍らないように懐に入れて行動する。ヘルメット、ハーネスを付け、トレースがあるのでフカンを使用せず、アイゼンを装着、各自ピーコンをセットしてテントを出発する。

小屋の裏手から地蔵尾根に取り付く。途中20人ほどのガイド付きツアー登山者と遭遇し待ち時間が発生。雪はだんだん激しくなり、高度を上げるに従い風も強くなる。ゴーグルを使わないと目が開けられない。所々、鎖が出ていて利用できるところもある。

だんだん傾斜も強くなり、風雪も激しくなったところで、続行するか検討する。ますます吹雪は激しくなるので、稜線直下2640<sup>標</sup>地点で登頂を諦め引き返すことにする。アンザイレンで慎重に下る。

途中でアンザイレンとピレー、滑落停止の訓練をする。10時25分テント場に帰着。雪はますます激しくなる。明日の天候も期待できないのでテントを撤収して下山することにする。(帰宅後の天気予報を見ると、9日は八ヶ岳マイナス23度、風速26メートルになっていた、また今季最高の冷え込み)

冬山は、悪天候が多く登頂のチャンスも少ない。八ヶ岳は比較的安定している方だが、今回は天候が不安定で、満天の星空が急変して雪に変わり、結局、当初の予報通りになった。

下山は順調に2時間弱で美濃戸、14時35分には美濃戸口に着く。

中央道諏訪湖SAにて風呂に入り、帰路につく。

武永さんには全行程を運転していただきお疲れ様でした。

参加者 4人

CL: 武永計介 SL: 竹本正幸

食料: 竹本加代子 会計: 縄手 修



## ◆ 参加者の声 ◆

### 息子の友達が遭難！ 14476 武永計介

北九州支部としては、難易度の高い山行は余り計画をされませんが、竹本さんをはじめ若手が少しずつ練習を重ねて、キャリアアップをしていくと良いと思っていました。

12月の忘年会でお誘いを受け、伯耆大山で顔合わせと訓練を行い、南八ヶ岳に向かいました。

しかし、出発が近づくと天気の周期が日程と合わず、変更も考えましたが、調整ができないので、行者小屋までは、行くことにして出発しました。

7日は晴天で、「入山日が良すぎると心配だな」と話しながら登り、行者小屋にテントを張りました。

テン場では、東京農大を始め沢山の若者が居ました。天気予報は、8日の悪天候を当初伝えていましたが、8日の朝7時までには晴れていました。

しかし、天気図を見るとオホーツク海に2つ目低気圧の変形が有り、風が強くなり、雪も降り出したので、2640迄まで登って撤退を決め、テントを撤収して1日早く8日に帰宅しました。

11日の朝、目覚めると我が家の3男の友達が遭難したみたいと、家内が言います。早速ネットで調べてみると、学習院大学の2人が遭難と伝えています。

1人は4年生で山岳部主将とのことでした。

まさに、同じ場所にテントを張り、同じ8日に登山に出かけた若者でした。彼は、富山にある文部科学省の登山研究所の受講生で、息子とも冬のアルプスにでかけ、3年生の時にヒマラヤ遠征を経験した。

とても知識や能力が高く、責任感のある青年だそうです。嵐に遭って道に迷った事は不覚ですが、その後の処置として、5人でビバークし天候の回復に合わせて、3人を先行させて下山させ、1人の部員に付き添って行動することは、冷静な判断だと思います。そのことで情報も正確に伝わり、10日朝からの捜索もスピード感を持って、範囲も限定して行われました。

そして、最悪の事態と成りましたが、ビーコンを装着していたことで、二人とも早期に家族の元に、帰れました。

遭難は雪山だけのことではありません。身近な所で、里山でも遭難は起きます。事故は他人事と思わず、日頃から講習会や本で学ぶことが大切だと再認識しました。

### 43年振りの八ヶ岳(感想) 15174 縄手修

私が初めて八ヶ岳に登ったのは43年前、6月の赤岳です。今回は2月6日(金)～2月9日(月)の厳冬期の雪山登山です。1月に伯耆大山でワカンをつけ、ラッセルの訓練やビーコンでの捜索訓練をして八ヶ岳に臨みました。

2月7日(土)天気が良く、美濃戸口から行者小屋キャンプ場へ向かいました。キャンプ場に到着すると大学山岳部など10以上のテントが張ってあり、われわれもテントを張り、翌朝に備え早めに寝袋に入りました。

2月8日(日)前日とは打って変わって雪が降っていました。天気予報では荒れる予報だったのですが、行ける所まで行こうとテントを後にしました。天気予報はあたり、このまま進んでも下山できなくなる恐れがあるとリーダーの判断で登山を断念しました。

引き返す途中時間があつたので滑落停止やスタンディングアックスビレイなどの練習をしてテントを撤収し下山しました。

今回は撤退することになりましたが、良い経験ととても楽しい思い出ができました。次回は山頂に立ちたいと思います。これを読まれたあなた一緒に行きませんか！

### 冬山の経験は貴重 14853 竹本加代子

7日夜半、冴えわたる満天の星空にくっきり浮かぶ横岳・赤岳・阿弥陀が見渡せた。明日の好天を思わせたのも束の間、強風でテントが揺れる。その度にフリーズされた結露が顔にかかり目が覚める。

8日は一変した気象条件の中での赤岳アタックとなった。秘かに、春の赤岳登山のお礼を稜線上で迎

えてくれるはずのお地蔵さんに言わねばと思っていた。もう少しのところで結果的にはかなわなかったが、春の積雪とはまた違った厳しい冬山を体験することができた。そして、求められる冬山のスキルの多いことも。課題である軽量もまだまだであることも。反省と学びと良き経験は心の宝です。感謝。



## スキー講習会 2月19日～20日

## 冬景色の九重連山を見ながらスキーを満喫!

15387 森義雄



写真 星生倶楽部前

今年度のスキー講習会は、2月19日(木)～20日(金)九重森林公園スキー場で開催されました。

参加者は、伊藤支部長、関口さん、馬場さん、竹本(正)さん、竹本(加)さん、原さん、森の7人でした。

当初は1月中旬の北海道での講習会を計画していましたが、諸事情で中止となり、2月は近場の九重森林公園スキー場となり、参加者も増えました。

## ◆19日(木) 雪

初日は、8時に伊藤支部長宅(田川市)に集合し、車2台で出発。車内は、スキー板やバックがあり、さらに今回は宿泊ホテルでの自炊のため、スキー道具、鍋や食材で一杯。車は小石原から日田を通り、九重町から四季彩ロードを走ります。湯坪温泉あたりから雪が路面をおおい、運転も注意しながら進みます。筋湯温泉を抜けて、スキー場入口に到着。雪も舞う中、レンタルスキーを借りるため手続きを行います。レンタル料は1日5,000円と高め、2日間だと10,000円なり。九州には天然雪のスキー場は3カ所(大分の九重、佐賀の天山、宮崎の五ヶ瀬)がありますが、雪質は本州に比べると水分もあり固め、よほど雪が多く降った後ではないとすぐに解けてしまいます。スキー場としては北九州から九重までは3時間余りかかり、それだと広島まで高速道路で3時間の芸北地区が条件は良いようです。

到着して昼食をとるため食堂へ、食堂では学生さんがカレーを待つ長蛇の列。あとでメンバーが学生さんに聞いたところ、沖縄からの修学旅行だとか。恐らく初めて雪の上でスキーをしたのではないかと想像されます。

食事を終えて、講習会を開始、全員で準備運動をしてまずは足慣らし、皆さん経験者のためか意欲満々。リフトに乗るため、並ぶ。しかし、並んでいるスキーヤーを見ると大きな声が聞こえる。自分の番になり、

初めてリフトの乗り方が難しい。リフトに乗るためには、足元で動いているベルトコンベアーにうまく乗らなければならない。やっと乗るため前進、後ろからリフトが来るが、リフトの椅子の高さが低く足がつかえて座りづらい、だから乗り損なうとこけてリフトが止まる。これまで、過去ロープ塔、Tバーなど珍しいリフトにりましたが、今回のベルトコンベアータイプは乗るのが難しい。

リフトにやっと乗り、中腹のゲレンデに到着。各人、やや硬いバーンを滑る。1年ぶり

の方は、段々足の感覚が戻るのか体重移動も少しずつ慣れてくる。数回滑り、私は竹本夫妻と山頂ヘリフトで向かう。山頂はあいにくガスがかかり、視界が良くない。中斜面のコースを竹本夫妻が気持ちよさそうに滑る。午後4時になり、足も疲れたので今日の講習会は終了。ゲレンデも学生さんの講習も終わり、閑散としている。食堂で待ち合わせをして車で今夜の宿泊施設の星生倶楽部へ向かう。

ここは、会員制の宿泊施設で、原会員が施設の会員のため今回は予約していただき、安い価格で泊まれることになった。スキーで疲れた体を温泉に浸かり、いよいよ宴会? おでんとすき焼きを食べながらお酒でのどを潤し、山談義の話となる。部屋は自炊用具や電気製品もすべてそろっているため便利で、しかも大きな温泉風呂付き。原さんに感謝。1日目は終わり、すやすや眠りにつく。

## ◆20日(金) 快晴

天気は快晴。リフトに乗ると遠くは阿蘇山、久住山も見えて景色も展望も最高。

昨日に続き、講習会を開始。皆さんひとりで滑れるようになり、竹本さん夫妻は山頂からスピードを上げて滑り降りる。馬場さんは、今日は山頂からの滑りにチャレンジ。時間をかけながら滑り降りてホットした様子。午後2時無事、滑り降りて講習会は終了。今年の講習会は九重森林公園スキー場でしたが、来年は広島地区で行いたいと考えています。来年も皆さんの参加をお待ちしています。

## 参加者 7人

森義雄(リーダー)、伊藤久次郎、関口興洋、馬場基介、原広美、竹本正幸、竹本加代子



## 「さいわい幼稚園」卒園記念登山サポート 美味しいカレーを園児と一緒に味わおう！！ 14264 丹下洽



写真 園児が小休止

3月桜の開花時期に「さいわい幼稚園」(北九州市門司区)では卒園式がある。今年も卒園児の記念登山(矢筈山キャンプ場)を計画しているのでぜひサポートをの要請があった。

3月17日(火)10時、門司区小森江こどもの森公園に集合。参加者は、先生1人卒園児11人、保護者12人、日本山岳会北九州支部会員6人、地元山岳会3人。先生とリーダーから参加者へ諸注意を行い、準備体操。

午前10時10分、全員で山頂の矢筈山キャンプ場に向け、車道を出発、歩く。心臓の疾患のある園児1人が車で向かう予定であったが、本人の希望で保護者了解のもと、ほかの園児と一緒に歩くことになる。

少し登ると、キャンプ場の入り口ゲートがある。ふだんは車乗り入れ禁止のため、ゲートは閉まっているが、本日は責任者の方に開放していただき、歩きやすい、感謝。ゲート到着途中、ヤブツバキ、シヨカツサイが咲いていた。園児は約100枚毎に掲げている昆虫のパネルを見ながら楽しく歩を進める。「こもれび広場」で小休止、水分補給、快調に歩く。

午前11時、キャンプ場に到着、責任者の方から説明や注意事項があり、昼食の準備にかかる。

毎年、春の風師山遠足登山のサポートをしている私たちにお礼のカレーライスをごちそうして下さるそうである。園児のお母さんたちが手分けして園児が担いできた具材や米を園児と一緒に調理する。私たちもごはんを炊くお手伝い。火をたき、飯盒炊飯となる。カレーが出来上がるまで園児たちは「スナイダ広場」でかけ走りまわる、手作りのブランコに乗ったり、旧陸軍弾薬庫跡に入ったりして遊ぶ。

12時にカレーも出来上がり、展望台で昼食となる。朝から霧が晴れず、関門海峡は眺めることはできま

せんでした、残念！カレーはルウが少し足りず、スープカレーとなりましたが、お代りをする園児もいて、全員で美味しくいただきました。昼食の後かたづけが終わり、池田智彦会員から卒園児一人ひとりに手作りの「卒園記念登山」の木製

ペンダント、また丹下香代子会員から干支の折り紙プレゼントを配りました。キャンプ場のスタッフの方にお礼を述べて、午後1時15分より下山開始。途中、車道をよけて近道の登山道を下る。チョット山歩きの冒険を味わえて、園児には大うけ。

午後2時、こどもの森公園に到着。ここでお別れ、体調を心配された子供も元気に下山、卒園児全員登山を楽しめたことに感謝。この園児たちは、年少組から3年間の顔見知りです。「この園児たちの前途に幸あれと心より望む」サポート全員の祈りでした。

参加者：9人

北九州支部会員：関口興洋、馬場基介、丹下洽、丹下香代子、池田智彦、森 義雄

地元山岳会：小田幸男、峯岐勝、木村利昭

## ★★ 第2期・指導員養成講座 参加者募集 ★★

山には、リスクがたくさんあります。これの一つひとつ取り除くことにより、より安全な登山が可能です。そのリスクを見つけること、取り除くことも技術のひとつです。

「最大の安全は物事を恐れることである」とシェクスピアも言っている。怖さを知って怖さを乗り越える工夫と努力が求められる。アクシデントが発生するかもしれない。ではその対策、対応はどうしたらよいか。

より安全な登山を共有するために、学び合おうという意識を持つことが大切だと思います。第1期の指導員養成講座で8人が指導員として認定されました。引き続き第2期生の参加者を募集します。

経験、年齢、性別は問いませんのでやる気のある方は申し込んで下さい。

●申し込み先：事務局・竹本正幸  
(携帯090-6739-9251)

●申込み締切り：5月末



## 特集・個人山行

皆さん頑張っています！  
ご一緒に登りませんか？

3月22日(日)

「峰入り古道」 修験道の道を歩く、  
(小石原行者堂～英彦山山頂)

15646 塚本久嘉



かって修験者が歩いた道、その核心部分が小石原から英彦山へ続く道です。

このルート歩くのは今回で4回目となる。前回は3年前だった、この時は3月末にも関わらず昼頃から雪が降り一時吹雪いた。当然サバイバルで15人の参加で山頂までたどり着いたのはわずか2人だけで残りは途中下山した。

今回も12人の参加者が集まった、遠方からの参加者もいるので一部の人は英彦山青年の家で前泊した。

22日6時45分、別所駐車場に12人が集合、別所に2台、しゃくなげ温泉に3台車を配置し残り3台に分乗し小石原行者堂に向かう。

7時10分行者堂をスタート、サバイバル縦走の始まりだ。今回はAチーム(山頂まで)とBチーム(岳減鬼峠で下山)を分けAチームが先行する。

数度のアップダウン(これでもかなりの急登)を繰り返し陣尾に到着。1～2分程度の休憩で先へ進む、ここから林道出会いまでは笈つり岩、貝つり岩、糸ヶ峰などの岩場がしばらく続く、ただ岩場には巻き道もあり岩場が苦手な人でも歩く事は出来る。

林道出会いからは本格的な急登が始まる、ロープや立木を頼りに急登のアップダウンを何度も繰り返

す、大日ヶ岳までの登りがかなりきつく毎回このあたりでペースを落とす人が出てくるが今回は快調に進む、大日ヶ岳手前で愛敬岩に着く。

ここには女岩を下るロープが前回まであったが今回は無くなっていた、ここを下りたければロープを持っていく必要がある。

大日ヶ岳～斫石峠～釈迦ヶ岳と急登が続く、ここは落石が多く肝を冷やす場面が何度かあった、大きな石がカーンカンと岩や立木にあたり鋭角に角度と速度を変えて落下してくる、しっかりと見定めないと何処に飛んでくるかわからない。

釈迦ヶ岳から岳減鬼山まではアップダウンはあるがさほど急では無い、12時30分前に岳減鬼山に到着した。ここで昼食をとる。20分程度の昼食後、岳減鬼峠へ下る。

岳減鬼峠ではここからしゃくなげ温泉へ下山するか、先へ進むかを選択する。前回は私もここで下山したが今回は山頂を目指し先へ進む事になった。

これから先も石楠花の頭や猫の丸をなど急登のアップダウンが続くし、2か所ほど岩場もある。

まずは石楠花の頭を目指し急登を登りそこから一旦最低鞍部へ急登を下る、そこから猫の丸尾へ登り返すがここが後半では一番きつい登りで息を切らしながらやっとの思いで山頂へ到着。

ここからは籠水峠へ下り、鹿の角の急登を登り、鬼の舌の崖を登れば南岳の鞍部に出て中岳を登り15時31分に英彦山山頂ゴール。

今回は6人が山頂ゴール出来た。途中下山は斫石峠で1人、岳減鬼峠で3人、猫の丸尾手前の最低鞍部で2人が下山した。

以前の小石原からの峰入り古道は踏み跡や標識・テープなども少なく道に迷うこともあったが最近では歩く人が多いのか道もしっかりしていて迷うことはない。

小石原から英彦山までは距離は短い福智縦走よりはるかにきついです、福智縦走を余裕で歩ける体力が必要です。

このコースはきついけど楽しいコースです、参加者からははやくも来年もとの声が・・・。

### コースタイム：

行者堂(7:10)～陣尾(7:53)～糸ヶ峰(8:33)  
～林道出会(8:46)～愛敬岩(9:20)～大日ヶ岳  
(9:34)～釈迦ヶ岳(10:30)～浅間山分岐(11:  
58)～岳減鬼山(12:22昼食)～岳減鬼峠(12:5  
4)～岳減鬼峠(13:17)～猫の丸尾(14:24)～  
英彦山山頂上宮(15:31)～別所駐車場(16:35)



## 1月3日(土) 宮島弥山(535㍓) 初詣は雪の弥山 15387 森義雄



写真 駒ヶ林山頂

今年の初詣は広島宮島の弥山ではじまりました。

1月3日(土)は、数日前に降った雪の残る北九州を早朝出発し、高速山陽道を広島方面へ向かいました。宮島ICの手前では、雪も路面にやや残り、気を付けながらの運転でした。10時過ぎに、宮島渡船口に到着、人出はそんなに多くもなく、並ばずに乗船。宮島へ到着後、まずはお参りと国宝厳島神社へ。入口で入場料を払い、人に押されながら歩く、今年1年の安全登山と家内安全をお祈りして神社をあとに、登山始める。

足元は、雪で一色。アイゼンは必要ないが、人の

踏んでいない登山道を登る。山頂手前で、岩場があり、岩面が凍るため足の置き方が難しい、あーだこーだで登る。やっと登り、駒ヶ林に到着。ここで待望の昼食、リーダーの内藤さんが重いぜんざいを皆さんにふるまう。瀬戸内海を見ながら、昼食。腹も落ち着き、下山して弥山山頂へ向かう。足元は雪があり、登ってくる登山者は簡易アイゼン装着者が多い。

途中、寄り道をしてお堂を見る。また、元の登山道へ戻り、急登を少し登る。凍る岩の階段を上ると、山頂。多くの人が休憩所で休憩している、ふもとから山頂までロープウェイがあり、利用者が多いようだ。景色を見ながら休憩する。下りは、少し冒険して登山者が少ない道を選ぶ。登山コースとしては、あまり利用しないのか足場が悪い。やぶごぎに慣れているわれわれにはあまり関係ないようだ。ロープウェイの乗り場近くに降りて終了。本日は、午後から天候に恵まれて晴れ、潮の引いた神社の大鳥居の近くまで行き、写真を撮る。足元が悪いが、観光客も海水に濡れながら写真撮影。今年初登山は気持ちよく登れて、感謝。

参加者 7人

会員：内藤(リーダー)、高島拓生、森本信子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、森義雄、大谷恵美子  
ビジター：篠田勝行

## 国際交流は山登りで！ 13541 高島拓生



写真 支部ルーム前

嘉麻市に平成26年春から在住のオランダ国籍のヴィンセントさん(29歳男性)とクララさん(女性)がお住まいです。昨年秋から二人を誘い、地域の山に案内をはじめました。ヴィンセントさんが以前嘉麻市の中学校の講師をされ、その後一旦母国に戻られましたが、昨年春に再来日、嘉麻市を中心に地域の方と国際交流を行っています。たまたま、二人を紹介され、秋の英彦山に案内しました。その初登山での景色が気に入られ、そのあと近くの山(三高山、古処山など)へ定期的に案内し、交流が続いています。1月中旬には当支部のルームにご案内しました。現在は(H27年3月)一時帰国されていましたが、4月には再度来日され、また二人を誘って登山を開始する予定です。

### その他 個人山行

- 1/31(土)~2/1(日) 久住山中岳縦走(テント泊)  
リーダー内藤(会員他10人)
- 2/1(日)久住山中岳縦走 リーダー竹本(会員2人)

- 3/8(日)平尾台 リーダー関口(会員他6人)
- 1/20(火)~23日(金) 岩手県安比高原スキー場  
リーダー森(他3人)





## 図書紹介

### (筆書からの贈呈) 「カミさんと登った(日本)百名山」 加藤昌隆 著 (海鳥社 定価2200円+税)

この本は、平成15年に出版したもので、山とは無縁のカミさんと還暦間近で百名山を登った。定年後の生き甲斐として始めた百名山登山。眉をしかめるカミさんをなだめすかしてのトレーニング、登山計画を立て、そして百山完登。ゆっくりと楽しんだ6年間の記録です。

筆者は現在日本山岳会福岡支部に所属していますが、昨年1月カミさんが亡くなったことから、まだ残っていた図書を、カミさんの意向を考慮して、山に関心を持たれる方に読んでもらえればカミさんも喜ぶのではないかということで、今回北九州支部に対し10冊の贈呈があったものです。

#### ◆本に添えられた贈呈の挨拶文から

(ほぼ原文のまま)

この度、百名山登山記をお届けさせて頂くご挨拶を申し上げます。

平成26年1月、カミさんは5年の腎臓癌闘病を経て黄泉に旅立ちました。身辺整理しますと、平成15年出版の「カミさんと登った(日本)百名山」が残っていました。カミさんであれば残された本をどのように処分するだろうと考え、山へ関心を持たれる方やカミさんをご存じの方に受け取っていただければ、思い出の縁として喜ぶのではないかと存じました。1周忌を終えた形見分けと申しますと大袈裟ですが、述べました趣旨で贈呈させていただきますこといたします。

本に書いておりますように、カミさんは音楽一辺倒で山と無縁の人生でした。登山は定年退職後の小生の趣味に付き合いイヤイヤ始めたのですが、日本百名山に次ぐ九州百名山登山は、むしろカミさんの方が積極的に登るようになっておりました。

癌発覚2年後に全身転移が判明しまして、再び治療を行うことになりました。その治療再開の日に病室から油山を眺めながら「もう一度久住に登りたいな」と申しておりました。死後出てきました遺言書の作成日がその日であったことに気が

久住登山の希望はカミさん最後の願いであったことが分かりました。

抗癌剤の副作用に苦しみながらも、出版した日本百名山と九州百名山登山記だけは、何時も手許から放さず見ていたことを思い出します。

わずか10年ほどの登山歴ですが、カミさんにとっての登山は、単なる趣味やスポーツの域を超えたものになっていたように思われ、登山が齎す(もたらす)ものにはそのようなこともあるのかと改めて気付きました。

押し付けがましい内容になりましたが、皆様方が登山など更に充実した人生を、過ごされますよう祈念し、お受け取りいただくお礼の言葉といたします。

早々

平成27年3月

福岡市西区 加藤昌隆

筆者の挨拶文を読むと、カミさんに対する想いや愛情が切々と感じられ、思わず涙が出そうでした。加藤様、貴重な図書をお贈り下さり大変有り難うございました。早速支部ルームの蔵書にするとともに、希望者に対し有効に配布したいと思えます。終わりに奥さまのご冥福をお祈りいたします。

なお、筆者は平成17年にも図書「カミさんと登る九州百名山」を出版しています。

(支部長 伊藤久次郎)





## 日本山岳会創立110周年と北九州支部創立15周年行事について

本年度は、当支部設立15周年にあたりますので、節目の年として下記の企画を計画いたしました。

皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

### 記

#### 1. 国内記念山行の募集

縦走コース(朝日岳から針の木岳までの後立山連峰縦走コース)

##### (1) 期日

- ①A班(白馬岳から朝日岳)コース  
7月30日(木)～8月2日(日)3泊4日
- ②B班(白馬岳から五竜岳)コース  
7月31日(金)～8月4日(火)4泊5日
- ③C班(五竜岳から鹿島槍ヶ岳、針ノ木岳)コース  
7月23日(木)～7月27日(月)4泊5日

##### (2) コース概要

- ①A班(白馬岳から朝日岳)車使用・山小屋泊
  - 1日目 北九州～白馬八方温泉(泊)
  - 2日目 猿倉～白馬尻～白馬岳頂上宿舎(泊)  
約10時間
  - 3日目 白馬岳～三国境～雪倉岳～朝日岳小屋(泊) 約9時間
  - 4日目 朝日岳～北又小屋(タクシー使用)～小川温泉元湯(車回送) 約5時間20分  
小川温泉元湯(午後0時)～北九州到着(8/2午後11時着予定)

##### ②B班(白馬岳から五竜岳)

車使用・テント泊予定

- 1日目 北九州～多賀SA(仮眠)～白馬～翌朝猿倉着
- 2日目 猿倉～白馬尻～白馬岳頂上山荘(テント泊) 約8時間
- 3日目 白馬岳頂上山荘～鑪ヶ岳～天狗山荘～唐松岳頂上山荘(テント泊) 約9時間30分
- 4日目 唐松岳頂上山荘～五竜岳～大遠見山～小遠見山～とおみ下山 約9時間40分  
猿倉(夕方5時発)～北陸道～北九州(8/4午前10時頃着予定)

##### ③C班(五竜岳から鹿島槍ヶ岳、針ノ木岳)

車使用・山小屋泊

- 1日目 北九州(午後発)～(レストイン多賀にて仮眠)～白馬テレキャビン(早朝着)
- 2日目 テレキャビン～小遠見山～大遠見山～五竜山荘(泊) 約5時間30分

3日目 五竜山荘～キレット小屋～鹿島槍ヶ岳～冷池小屋(泊) 約10時間

4日目 冷池小屋～爺ヶ岳～種池山荘～信越山荘～針ノ木小屋(泊) 約10時間

5日目 針ノ木小屋～扇沢(下山) 約4時間  
扇沢(車回送)～信濃大町発(午前9時30分)～北九州到着(7/27午後10時頃)

(3) 募集人員 各班ごとに8人(車2台予定)

##### (4) 参加条件

- ①参加希望者が決定後、5月から班ごとに縦走訓練(2回程度)の計画を行い、各人の体力・技術力等の強化を行います。
  - ②宿泊は、A班及びC班は山小屋泊、B班はテント泊を予定していますので参加希望者は申し込み時注意してください。
  - ③山行参加の費用は、車使用の場合は、一人あたり概算で約6万円～7万円、B班テント泊の場合は概算で約3万円の予定。  
参加人員、宿泊箇所、ルート、交通手段などが決まり次第費用を決定します。
  - ④その他、詳細は参加者で打ち合わせを行います。
  - ⑤詳細の問い合わせ先  
A班(森義雄携帯090-4475-7799)、  
B班(赤瀬榮吉携帯090-7475-9748)、  
C班(竹本正幸携帯090-6739-9251)
- (5) 申込み締切り及び申し込み先: 5月15日(金)  
記念山行事務局 竹本(TEL携帯090-6739-9251)・森(TEL携帯090-4475-7799)

#### 2. 海外遠征登山

(詳細は決まり次第お知らせします)

コース: ヒマラヤトレッキングツアー(マナスル)

◎時期: 9月～11月頃

◎費用: 約40万円

◎申込み先: 日向祥剛(TEL093-592-0275)

#### 3. 文化展

(詳細は決まり次第お知らせします)

絵画(油絵、水彩画)、写真、版画等の展示会を開催します

◎場所: 交渉中

◎時期: 未定



## 4. 英彦山への峰入りルートの検証登山

(詳細は決まり次第お知らせします)

英彦山山伏が血倉山から英彦山への峰入りは明治3年が最後といわれている。いにしへの山伏の修行の姿を想像しながら、峰入りルートを検証する

◎時期：8月～来年3月

◎コース：未定

◎担当：丹下 洽 (TEL093-391-8193)



## ●利用方法

現在、ルームは定例の役員会開催や版画教室などで使用していますが、会員ならどなたでもご利用できます。

個人山行の打ち合わせ、図書の閲覧などにもご利用できます。

## ●入室方法

使用を希望する場合は、出来る限り事前に事務局へご連絡して使用してください。ルームには平日(土日祝日を除く)当番者がいる場合がありますので、ご連絡後、入室してください。

入室する場合で、当番者がいない時間帯及び曜日の場合は警備室からルームキーを受け取り入室することができます。

●連絡先：竹本 正幸 (携帯090-6739-9251)

丹下 洽 (携帯090-3732-8843)

## 事務局からのお知らせ

## 緊急連絡先登録票をお送りください!

総会のご案内をお送りした際に、緊急連絡先登録票を同封いたしました。記入の上、事務局森までお送りください。

- faxか郵送、または森のパソコンアドレスにお送りいただければフォーマットをお送りします。不明な点は、森までご連絡ください。



## ルーム日記 (1月～4月中旬)

## ○1月

- 07日 定例役員会 (午後6時～9時)
- 09日 4/19森会長来北時のスケジュール確認、又、通常総会の日程調整を検討 (関口副支部長、丹下洽、森)
- 19日 1月号支部報発送準備 (午後1時～4時：支部長他5人)  
第1回山行員会 (午後4時～7時：支部長他9人)
- 30日 第2回山行委員会 (午後3時～5時：支部長他9人)

## ○2月

- 13日 さいわい幼稚園より3/17卒園ハイキングサポートの要請受け(丹下会員)

## ○3月

- 04日 定例役員会 (午後6時～9時)
- 14日 第3回山行員会 (午後6時～9時：支部長他8人)
- 25日 平成26年度支部会計報告書役員回覧

## ○4月

- 02日 臨時着員会 (午後6時～9時)
- 04日 議案書作成 (山田)
- 05日 議案書発送 (午前10時～山田他6人)

## ●版画教室

- 1月7日、21日、28日 2月4日、18日、25日
- 3月4日、11日、25日 4月2日、8日、15日



# 会 務 報 告

## ●平成27年1月役員会報告

- ・日 時：平成27年1月7日(水)
- ・場 所：当支部ルーム(毎日会館 1F)
- ・出席者：伊藤、板倉、関口、日向、馬場、山田、丹下、竹本、木原、池田、森、大楠、縄田、(欠席者：縄手)
- ・議題：
  - (1) 会員の異動状況
    - ① 通常会員 77人(増2人)  
(支部友から塚本久嘉、倉本とき子入会)
    - ② 支部友 57人(減 2人)  
(入会：平野和則 退会：坂本千佐子  
塚本久嘉、倉本とき子通常会員へ)
    - ③ 会友 4人(増減なし)

計 138人
  - (2) 会費納付状況  
未納者6人(前回と同じ)、納付書同封の上、督促する
  - (3) 山行・行事報告
    - ・11月16日(日) 孔大寺山～湯川山7人参加
    - ・12月2日(火) 宝満山～三郡山8人参加
    - ・12月6日(土) 年次晩餐会(新宿 京王プラザ) 16人参加
    - ・12月7日(日) 記念懇親山行(鉄砲木の頭・高指山) 12人参加
    - ・12月13日(土) プレ山行 竜王山18人参加
    - ・12月13日(土) 「年忘れの集い」(下関シーモールパレス) 34人参加
    - ・12月20日(土)～21日(日) くるみ小屋宿泊19人、翌日山行、宿泊者14人当日2人計16人
  - (4) 山行・行事計画
    - ・1月11日(日) 英彦山冬山訓練
    - ・1月18日(日) 足立山～戸ノ上山縦走
    - ・1月27日(火)～30日(金)  
ニセコひらふスキー場(中止)
    - ・2月1日(日) 福岡支部「岳人のつどい」
    - ・2月6日(金)～10日(火) 八ヶ岳(冬山登山合宿)
    - ・2月19日(木)～20日(金)2日間 九重スキー場
  - (5) 27年度事業計画及び予算案について
    - ・計画案について役員各位の意見に基づき修正の上、1月9日本部事務局に送信した。
  - (6) 「改訂 新日本山岳誌」校正作業について
    - ・本部の依頼により、当支部は山口県、福岡県の

59座を担当する事となった。山域毎に担当を決め、総力であたることとした。

- (7) 「有恒祭(仮称)」の開催について
  - ・昨年3月、風師山での「榎有恒略歴碑」除幕式開催後、1年が経過するが、昨年末の年次晩餐会の会話が発展して、4月19日森会長が北九州に来られることになった。
  - ・「有恒祭」の名称は、ご親族の了解を得てからとし、今回は「1周年」として、セレモニーを行う。
- (8) 指導員養成講座の進展状況について
  - ・本年度受講生は8人。第1次試験(実技、机上、論文)、第2次研修を終えて終了するが5人は未研修。4月の支部総会で支部長より認定書を交付する。
- (9) 来年度役員人事について
  - ・来年度は役員の改選期に当たるので、人選を進めており、3月の役員会で素案を役員各位に諮ります。
- (10) 第16回通常総会(場所、日時)について
  - ・森会長が来られる4月19日(日)の提案あり、会場及び議案書作成の問題を検討のこととした。
- (11) 支部報発行準備状況について
  - ・3月14日原稿締切、校正。16日印刷。19日発送の予定とした。
- (12) その他
  - 来年度の山行計画作成について
    - ・1月19日 第1回山行委員会を事務局主催で開催のこととした。
    - ・平成27年度全国支部懇談会(四国支部主管) 4月11日(土)～4月13日(月)申込み締切：1月末
    - ・関西支部創立80周年記念式典(5月30日(土)～31日(日))申込み締切：3月末
    - ・次回の役員会は3月4日(水)、臨時役員会は4月2日(木)とした。

(記載者：山田武史)

## ●平成27年3月役員会報告

- ・日時：平成27年3月4日(水)
- ・場所：当支部ルーム(毎日会館 1F)
- ・出席者：伊藤、板倉、関口、馬場、山田、丹下、竹本、池田、木原、縄手、森、大楠、縄田、欠席者(日向)
- ・議題
  - (1) 会員の異動状況(3月4日現在)
    - ① 通常会員：76人(減1人) 山本守氏退会
    - ② 支部友：55人(減2人)



八木定治氏、八木國子さん退会

③会友：4人(+ - 0)

計135人

(2) 会費納付状況

未納者は5人(3年経過すると退会となるので、声かけする)

(3) 山行・行事報告

- ・1月11日(日)英彦山冬山訓練7人参加
- ・1月18日(日)足立山～戸ノ上山縦走16人参加(縦走者は7人)
- ・1月27日(火)～30日(金)ニセコひらふスキー場(中止)
- ・2月1日(日)福岡支部「岳人のつどい」4人参加
- ・2月7日(土)～10日(火)八ヶ岳(冬山登山合宿)4人参加
- ・2月19日(木)～20日(金)九重スキー場7人参加

(4) 山行・行事計画(月例山行については支部報で予告するので省略した)

- ・3月17日(火)さいわい幼稚園の卒園者デイキャンプ支援
- ・4月11日(土)～13日(月)小島烏水祭及び全国支部懇談会(四国支部)
- ・4月19日(日)横有恒略歴碑の1周年セレモニー(風師山)
- ・4月19日(日)第16回北九州支部通常総会(小倉ステーションホテル)
- ・4月26日(日)英彦山清掃登山
- ・5月30日(土)～31日(日)関西支部設立80周年記念式典
- ・7月11日(土)～12日(日)宮崎支部設立30周年記念式典および九州5支部集会

(5) 風師山セレモニーについて

- ・4月19日11時より風師山頂上にて、森日本山岳会会長出席のもと、横有恒略歴碑の1周年セレモニーと、こもれび会設立55周年記念並びに早朝登山会の避難小屋設立周年記念を合同で開催する。雨天の時は中止
- ・13時より、小倉ステーションホテルにて記念昼食会。

(6) 第16回北九州支部通常総会について

4月2日の臨時役員会にて、詳細を決定する

(7) 支部15周年記念行事実行委員会のメンバーについて

- ・文化祭：版画メンバー(伊藤、原、丹下(加)、馬場、竹本、大谷)
- ・山岳：山行委員会メンバーが任にあたる

(8) 支部報発行予定日について

4月19日の通常総会の記事をトップに持ってく

る紙面作りとなるので例年より2週間程度遅れる見込み。

(9) 「改訂 新日本山岳誌」校正について

山口県22座(地区責任者：井上 祐氏)、福岡県37座(地区責任者：関口 興洋氏)の校正は9割近く進んでおり、予定通り3月末までには本部に送付出来る見込み。

(10) 来年度新役員人事(案)について

伊藤支部長より「自身は、4年の任期満了により退任する。後任に園川顧門の内諾を得ていたが、2日前に家庭の事情ある由で辞退の連絡受け、暗礁に乗り上げている」と、説明あり役員に意見を求めた処、ある役員より来年度は15周年を迎えるので、10周年の時の前例もあるので、特例でもう1年延長の提案あり、拍手多数で決定した。

その他の役員については、4月2日の臨時役員会にて伊藤支部長より発表あります。

(11) その他

スポーツ団体保険は、現在18人の会員が加入しているが、3月末で期限切れとなるので、更新を呼びかけた処、全員が継続更新された。

(記載者：山田武史)

## ●平成27年臨時役員会報告

・日時：平成27年4月2日(木)

・場所：当支部ルーム(毎日会館1F)

・出席者：伊藤、板倉、関口、日向、馬場、山田、丹下、竹本、池田、木原、縄手、森、大楠、縄田 欠席者なし

・議題：

(1) 4月19日(日)のスケジュールについて

森会長夫妻の北九州空港での出迎えは、森会員のマイカーで伊藤支部長が同行、会場に案内する。

(2) 第16回通常総会の式次第について

各役員の役割分担を決めた。

(3) 総会の付議案件について

・1号議案：平成26年度事業報告

・2号議案：平成26年度決算報告

・3号議案：平成26年度監査報告

・4号議案：役員改選(案)の審議

・5号議案：平成27年度事業計画(案)の審議

・6号議案：平成27年度収支予算(案)の審議

・7号議案：支部規約に次の規定を追加(案)の審議

・8号議案：月例山行での参加費徴収(案)の審議



## (4) その他

- ・風師山頂上でのセレモニーについて  
楨有恒略歴碑設置1周年記念式典と「楨有恒祭」  
(仮称)設立企画の推進。
- ・当支部15周年記念行事について  
北アルプス縦走登山、海外遠征登山(ヒマラヤ  
トレッキングツアー)、文化展(絵画、写真、  
版画等会員の作品の展示会)、英彦山への峰入  
りルートの検証登山等を企画しているが、鋭意  
推進する。

(記載者: 山田武史)

## ◇◇月例山行のご案内◇◇

支部会員、支部友会員による県外山行  
(北九州支部エリア外)は「登山計画書」  
を必ず事務局に提出しましょう。

## 平成27年5月の山行

●岳滅鬼山(1036<sup>㍉</sup>) クラス: 初級

と き: 5月1日(金)  
集 合: 9時00分 添田町英彦山大権現駐車場  
行 程: 英彦山大権現駐車場～大南林道分岐～  
岳滅鬼峠～岳滅鬼山(往復)片道約2時間  
申込み: 榊俊一 (TEL092-947-3208、  
携帯090-8416-4194)  
締切り: 4月24日  
その他: 昼食、飲料水、雨具、非常食、保険証、  
常備薬、着替え(下山後入浴予定)

●犬ヶ岳(1130<sup>㍉</sup>)～経読岳(992<sup>㍉</sup>)

クラス: 中級  
と き: 5月10日(日)  
集 合: 8時30分 犬ヶ岳登山口(駐車場)  
行 程: 犬ヶ岳登山口～恐ヶ淵コース～大竿峠～  
犬ヶ岳～笈吊峠～経読岳～経読林道～  
登山口 約7時間30分  
申込み: 森義雄 (携帯090-4475-7799)  
締切り: 5月1日  
その他: 昼食、飲料水、雨具、非常食、保険証、  
常備薬、着替え(下山後入浴予定)

## ●第1回岩登り(平尾台)

と き: 5月17日(日)  
集 合: 8時30分 平尾台茶ガ床園地  
場 所: 平尾台唐手岩  
行 程: 茶ガ床～唐手岩(岩登りトレーニング)～  
茶ガ床(15:00)  
装 備: 一般装備、ヘルメット、ハーネス、カラ  
ピナ、シュリング、エイトカン、確保器、  
クライミングシューズ、昼食、飲料水、他、  
共同装備: コープ(50<sup>㍉</sup>×2本、40<sup>㍉</sup>×1本)  
申込み: 竹本正幸 (携帯090-6739-9251)  
締切り: 5月10日

## 平成27年6月の山行

## ●第1回 山岳専科(血倉山)

講 師: 園川陽造顧問  
テーマ: 用具の基礎知識と応用、救助含む  
と き: 6月7日(日)  
集 合: 9時00分 帆柱駐車場  
行 程: 駐車場～血倉山山頂～駐車場(15時)  
装 備: 一般装備  
申込み: 竹本正幸 (携帯090-6739-9251)  
締切り: 5月30日

●両子山史蹟めぐり(720.8<sup>㍉</sup>)クラス: 初級

と き: 6月14日(日)  
集 合: 8時00分 豊前道の駅おこしかけ駐車場  
行 程: 両子山登山口～両子山頂～登山口  
(往復約3時間30分)  
申込み: 丹下洽 (TEL093-391-8193)  
締切り: 6月8日  
その他: 昼食、飲料水、雨具、非常食、保険証、  
常備薬、着替え

## ●第2回岩登り(陶が岳)

と き: 6月20日(土)  
集 合: 9時 松永邸横駐車場  
場 所: 山口県陶が岳  
行 程: 松永邸横駐車場～陶が岳岩場(岩登り  
トレーニング)～駐車場(15:00)  
装 備: 一般装備、ヘルメット、ハーネス、カラ  
ピナ、シュリング、エイトカン、確保器、  
クライミングシューズ、昼食、飲料水、他、  
共同装備: コープ(50<sup>㍉</sup>×2本、40<sup>㍉</sup>×1本)  
申込み: 武永計介 (携帯090-4898-4462)  
締切り: 6月12日



- 古処山(860㍍)～屏山(927㍍)クラス：中級  
 と き：6月28日(日)  
 集 合：9時00分 秋月キャンプ場入口駐車場  
 (本覚寺0946-25-0038)の上  
 行 程：秋月キャンプ場入口～五合目～古処山頂  
 ～屏山 (約5時間)  
 (往復約3時間30分)  
 申込み：赤瀬榮吉 (TEL092-943-8223、  
 携帯090-7475-9748)  
 締切り：6月21日  
 その他：昼食、飲料水、雨具、非常食、保険証、  
 常備菜、着替え

### 平成27年7月の山行

- 第2回 山岳専科(血倉山)  
 講 師：園川陽造顧問  
 テーマ：歩行技術、計測  
 と き：7月5日(日)  
 集 合：9時00分 帆柱駐車場  
 行 程：駐車場～血倉山山頂～駐車場(15時)  
 装 備：一般装備  
 申込み：竹本正幸(携帯090-6739-9251)  
 締切り：6月28日
- 城山(369㍍)～金山(317㍍)クラス：初級  
 と き：7月12日(日)  
 集 合：9時00分 JR教育大駅前  
 車の場合は、熊越池公園駐車場  
 (宗像赤間郵便局の前0940-32-2685)  
 行 程：JR教育大駅前～城山登山口～城山～  
 ～金山(往復) 約4時間  
 申込み：赤瀬榮吉 (TEL092-943-8223、  
 携帯090-7475-9748)  
 締切り：7月5日  
 その他：昼食、飲料水、雨具、非常食、保険証、  
 常備菜、着替え



## お知らせコーナー

### 関西支部設立80周年記念式典 5月30日(土)～31日(日)

- 1.と き：5月30日(土)～31日(日)
- 2.集 合：開式13時30分
- 3.会 場：神戸市ホテル北野プラザ「六甲荘」
- 4.参加者：日本山岳会会員及び関係者
- 5.費 用：21,000円(1泊2食・懇親会会費含む)
- 6.スケジュール
  - ★1日目(11日)
    - 13:30 受付開始
    - 14:30 開会式
    - 14:40 ～ 16:20  
フォーラム「但馬が生んだ孤高の登山家、  
加藤文太郎と植村直己
    - 18:00 交流会
  - ★2日目(31日) 3班に分かれての記念山行
    - ①登山(A)登山(六甲山約4時間)
    - ②登山(B)登山(六甲山約3時間半)
    - ③散策(約2時間)
- 7.問い合わせ先 事務局 森義雄  
(携帯090-4475-7799)

### 宮崎支部創立30周年記念式典 九州5支部集会 7月11日(土)～12日(日)

- 1.と き：7月11日(土)～12日(日)
- 2.会 場：ホテル高千穂  
宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井1037-4  
(TEL0982-72-3255)
- 3.参加者：日本山岳会会員(会友)120人
- 4.参加費 19,000円(宿泊費・懇親会費用含む)
- 5.概要
  - (1) 式典など 7月11日(土)午後3時～5時
  - (2) 懇親会 7月11日(土)午後6時30分から
  - (3) 記念山行 7月12日(日)
    - ・記念登山：二上山午前8時30分～午後1時
    - ・観光コース：観光スポット午前9時～午後1時



6. 申込み先 事務局 竹本正幸  
(携帯090-6739-9251)

7 申込み期限 5月15日(金)

8 その他

- ・詳細は事務局へお問い合わせください。
- ・参加者を取りまとめのうえ、宮崎支部に連絡します。

## 2015年度自然保護全国集会 7月11日(土)~12日(日)

テーマ「日本山岳会の自然保護活動を振り返り、  
これからの考える」

- 1 と き : 7月11日(土)~12日(日)
  - 2 会 場 : 東京都青梅市「かんぼの宿 青梅」  
(宿泊も上に同じ)
  - 3 費 用 : 15,000円(1泊2食・懇親会会費含む)
  - 4 スケジュール
    - ★1日目(11日) 自然保護全国集会
      - 9:30~ 受付開始
      - 10:30~13:00 支部報告  
(昼食)
      - 14:00~18:30 主催者あいさつ、来賓あいさつ  
基調講演、パネルディスカッション
      - 18:30~ 懇親会
    - ★2日目(12日)
      - 3班に分かれてフィールドスタディ
      - ①大岳山コース(約6時間)
      - ②高尾の森見学コース(約4.5時間半)
      - ③横沢入りコース(約4.5時間)
  - 5 問い合わせ先 事務局 森義雄  
(携帯090-4475-7799)
  - 6 申込み期限 5月25日(月)
  - 7 その他
    - ・詳細は事務局へお問い合わせください。
    - ・参加者を取りまとめのうえ、所管支部に連絡します。
- ※日本山岳会会報山4月号第839号詳細参照

## 平成27年度白神山地ブナ林再生 &自然観察会の案内 6月27日~28日 (青森支部主催)

○目的

・世界遺産・白神山地のバッファー・ゾーン周辺の生育不良スギ林地をブナ林に再生するための除伐や植樹などの作業、および原生ブナ林の観察会を行なう。寝袋、食料必携。テントは支部が用意。

※この事業はブナの植樹事業ではありません

○実施日 平成27年6月27日(土)~28日(日)

概要は以下の通りです。

- 集合 : 27日8時 JR弘前駅城東口および10時  
30分奥赤石林道ゲート
  - 解散 : 28日15時 奥赤石林道ゲート17時弘前  
駅送迎可
  - 経費 : なし(食料、保険は各自持ちで)
  - 定員 : 50人
  - 締切 : 6月15日(月)
  - 申込み先 事務局 森義雄  
(携帯090-4475-7799)
  - その他
    - ・詳細は事務局へお問い合わせください。
    - ・参加者を取りまとめのうえ、所管支部に連絡します。
- ※日本山岳会会報山4月号第839号詳細参照

## =会員の異動及び入会など=

- 新入会員(1月~3月)支部友から通常会員
  - 15709 山中 秀正
  - 15710 町元 里香
- 退会通常会員(1月~3月)
  - 11895 山本 守
  - 13804 横山 洋子
  - 14691 平野 一幸
  - 13514 橋本 美和
- 退会支部友会員(1月~3月)
  - 北九206 金 容卿
  - 北九309 大隈 むつ子
  - 北九359 八木 國子
  - 北九393 前田 美幸
  - 北九398 中山 幸弘



## 長谷川恒男記念庫 開設のお知らせ

13643 関口興洋

長谷川恒男はヨーロッパアルプス三大北壁といわれるマッターホルン、アイガー、グランドジョラスの北壁を冬季に単独で登り、一躍彼の名声が広がった。その後、南米大陸の最高峰であるアコンカグア南壁の冬季単独初登攀など輝かしい記録を打ち立てたが、1991年10月10日パキスタンのフンザにある未踏のウルタルII峰(7,388m)に挑んだ際、雪崩により遭難死した。享年43歳。

この度、奥様の長谷川昌美さんが、ご主人と縁の深い八ヶ岳の登山口である美濃戸の太陽館に遺品を収納する記念庫を開設されることとなりました。

概要は以下の通りです。

- 所在地：長野県茅野市玉川11400-664  
「太陽館」内
- オープン：2015年5月2日(土)午前10時
- 公開日：毎週土曜・日曜 午前10時～午後4時  
(10月末まで、冬期は休み)
- 入庫：無料
- 要予約：TEL 090-8726-6719  
(有) 武藤プロダクション 武藤 昭
- 問い合わせ先：〒151-0061  
東京都渋谷区初台2-26-1-401  
アルパインガイド長谷川事務所  
TEL 03-3370-8522  
FAX 03-3320-0398



## サロン ルーム

毎月第4週の  
水曜日に開催  
しています

場 所：小倉北区魚町「コール天」  
申込み：事務局森義雄(携帯：090-4475-7799)

### 小倉 サロン

1. 5月27日(水) 午後6時から
2. 6月24日(水) 午後6時から  
記録ビデオ上映(ブルーレイハイビジョン)  
北アルプス 剣岳 「点の記」をたどる  
期日：2010.6.23~6.27  
◎参加者 青年部ひとりで 武永計介  
乙女部代表 福田陽子  
老年部代表 伊藤久次郎  
(ビデオ撮影)  
◎コース 剣山荘～剣沢大雪渓～長次郎谷～  
剣岳～平蔵谷～剣沢雪渓～剣山荘

3. 7月22日(水) 午後6時から
4. 8月26日(水) 午後6時から

### 博多 サロン

1. 5月7日(木) 18時30分より  
・場所:博多区吉塚本町13-55  
サンヒルズホテル内 居酒屋「呑多来」  
・申込み：榊俊一 (携帯090-8416-4194)

※サロンでは、会員相互の交流の場として、参加を呼び掛けています。

また、はじまる前にはこれまでの山行記録(ビデオ)の放映やワンポイント講習も行っています。

会員・支部友の皆さん気軽にご参加ください。



## 会員の皆さん保険に入りましょう!

これから、本格的な登山のシーズンです。

登る前には必ず保険に加入し、登山届を提出しましょう!

まだ、保険に未加入の方は、事務局までお尋ねください。

担当：森 義雄 (携帯：090-4475-7799)

### ○スポーツ保険の紹介

加入手続きを行った5人以上のアマチュアの社会教育関係団体の構成員を被保険者として加入できる保険です。保険には、①傷害保険、②賠償責任保険、③突然死葬祭費用保険を一括契約した補償制度です。

当支部の会員の皆さんでは、①大人でスポーツ活動、スポーツ活動の指導・審判の団体活動が適用されます。(加入区分C:1,850円) また、65歳以上の方は加入区分で1,000円となります。適用される範囲として、ウォーキング、ハイキング、軽登山、釣り、キャンプなどが含まれます。

ただし、山岳登山、冬山登山、岩登りなど危険度が高いものは適用外です。

他には、捜索費用がついた保険、補償金額が高いものなど危険度に応じて色々な種類があります

### ○山岳共済会の山岳遭難・捜索保険

契約者：日本山岳協会山岳共済会

引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

日本山岳協会山岳共済事務センター

・保険のお問い合わせ

月～金 10:00～17:00

TEL: 03-5958-3396

FAX: 03-5958-3397

### ●お詫び (記事の誤り)

1、平成27年度山行計画の中で、第一山行7月12日(日)の「城山～金山」のリーダーの担当は、藤井 ⇒ 赤瀬が正当です。

2、12月19日は土曜日が正当

## 編集後記

4月に入り、いよいよ登山シーズンに入りました。でも、登るからには準備はできていますか? 装備だけではなく、計画は大丈夫ですか?、保険にも入っていますか? ケガをしたら大変です。やはり、登るからには安全登山が一番。

先日、犬が岳に月例山行の下見に行きましたが、山頂下の岩場の手前にこんな立札が建てていました。昨年、岩場で登山者が亡くなり、建てられたようです。安全第一です。気を付けて登りましょう!!

森 義雄



- 小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
- TEL: 093-522-0565
- JR鹿児島本線 小倉駅南口から中央銀天街方面に向かい徒歩5分  
北九州支部は毎月(第4週水曜日)のサロンルームでお世話になっています

